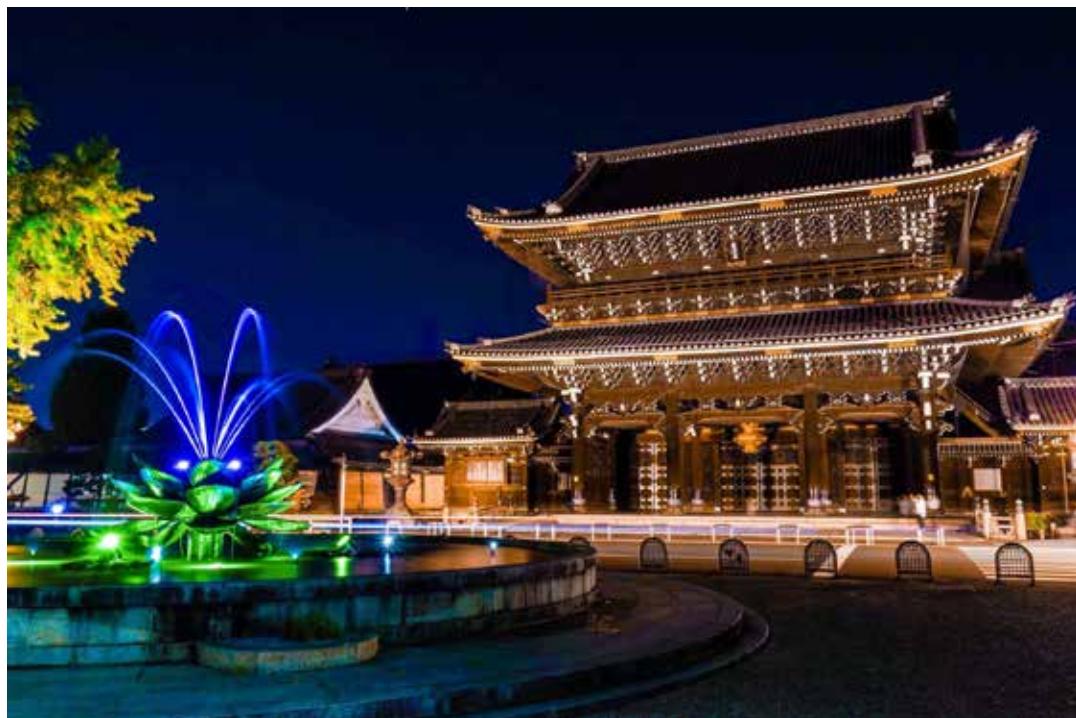


常夏休み恒例
並びに常夏休み恒例
常入寺おやじのつどい
inサマー! を開催



毎年子ども月間と称してお
参りしてくれた子ども達に
ご褒美をあげることをして
います。子ども達に仏様の前で手
を合わせるご縁を結んでい
ただけますようお願い申し
上げます。

はもう少し多めの方々に参
加してくださるよう、呼び
かけをしつかりしてゆきた
いです。子どもと仏様を結
ぶことを願つていろいろ事
業をしていますが、皆様方
も子ども達に仏様の前で手
を合わせるご縁を結んでい
ただけますようお願い申し
上げます。



ライトアップされた東本願寺御影堂門と噴水

月参りの日時変更時間指定、その他のご相談は LINE や電話
でお願いします

LINE はこちから



電話 076-436-0816

住職携帯 090-3764-3983

ごほほん
GohonhanNews

発行真宗大谷派 常入寺 寺地
富山市東老田787番
電話(076)436-0816
FAX(076)436-2766
携帯090-3764-3983
発行責任: 青井和成

開催日 10月31日(火)午後2時より11月1日(水)午後4時まで
講師 松井勇さん(南砺市)
毎年毎年、絶えることなく勤められたホンコハソ 親鸞聖人の命日を縁として勤められて
きたホンコハソホンコハソが勤めらてきた歴史の流れに乗りませんか?
*10月31日夜 おやじのつどい By ほんこさん をつとめます

【第6回夏休み！高岡で遊ぼう】開催趣旨

今年も「夏休み！高岡で遊ぼう！」を開催させていただきます。
「東日本大震災」から6年が経ち、昨年4月には「熊本地震」が発生しました。自然災害は毎年のように起こり、まだまだ進まない被災地の復興が課題となっています。

しかし、人間の過失が引き起こした、福島第一原子力発電所の事故が起こった「福島」では、自然災害とは異なる、今までにはない不安や問題が存在しています。決して目に見えることのない放射能は、その被害だけではなく、疲弊や判断を生み出しています。

「子どもを何気なく外で遊ばせたい」

「福島の海には二度と入れさせたくない」

「周りの批判を気にして、放射能の話題を口にできない」

これまで私たちは、保養事業を通して、様々な方の姿や声に出遇わせていただきました。保養事業がどれだけ具体的な効果があり、参加されてきた方の不安を和らげてくれているのか、私たちには正直分かりません。

しかし、このような保養を必要とされている方が、まだまだたくさんおられる事。何より、「また来るね！」と笑顔で帰っていった子どもたちに、今年もほんの「ひと時」であっても、放射能のことを気にしない時間をプレゼントできたらと思います。

今年いただいた声

原発事故の捉え方は、ますます、それぞれの考え方次第となっていました。ですから変わらずにおいしいお野菜やお米をいただける事も、本当に嬉しいと思います。たまねぎもじやがいも甘くておいしかったです。ありがとうございました。

震災が無ければなかなか会うきっかけのなかった高岡の方々のおかげで、息子はいつも高岡での精神を胸に成長し、今年四度目にして小学生最高学年での参加を果たすことができたことを、感無量に感じております。

Rは昨年まで高岡に参加して、いつか自分も人の為に役に立ちたいと、看護師を目指す事になりました。Rから一言！「みなさんお元気ですか？夢に向かって勉強頑張ります。またお会いできるのを楽しみにしています。」

メロンパン、ドラえもん等喜んで下さいね。何より高岡の方々の温かい気持ちに触れ、優しい気持ちになれた事でしょう。ありがとうございました。

Iは話が止まりません。Mは夏休み

みの楽しみが全部終わってしまったどんよりしています。
とてもいい経験をさせていただきました。感謝いたします。

福島の現状、保護者の思い」を問われ、戸惑ってしまいました。震災から年もたつと福島市で普段に暮らしている様に見える人々の事はTVや新聞等でも話題にならず、サポートも無いですね。やはり、放射能による避難地域の方々、自主避難されている人々の方々は今も支援の手が差し伸べられていて、逆に福島市に残っている生活をしている私たちには何も無い…不満です。避難もせずに居るのだから心配していないのだろうと思っているのだろうなと勝手に思っていますが、基本的に福島の人への声を上げない人だと思います。おとなしくしていると言うか行動しないと言うか…。もちろん、全く気にしていない方もいらっしゃるようですが、生活を考えて避難出来なかつたと聞きます。

ご近所から頂く食べ物の産地が気になり…水も気になり…食費も気になります…祖父母は米を作っていますが、原発事故後食べてしまいません。祖父母にちよつと言われてしまうこともあるけど、遠くの米を買います。もちろん野菜も…お魚は

太平洋のものは全くというほど口にしません。でも給食では福島の物や太平洋の魚が含まれていて食べないわけにはいきません。今後も汚染は続く、どうしたら良いのか悩みます。

震災前、我が家は、海水浴場のすぐそばでした。津波さえなければ、いつでも歩いて行った海水浴場でしたが、この何年か海で遊ぶ事さえ出来なかった。

海の恐ろしさを知っているのと又海の楽しみを思い出す、良い体験です。

来年参加するよと元気に帰宅したTです。お土産まで頂きスタッフさんのおもてなしや1つ1つの企画に感動しています。

この程度の放射線量であれば安全だとこの政府報告を信じようとした。信じていない気持ちも多いのですが、そう思う事にしないと福島に残れないのです。

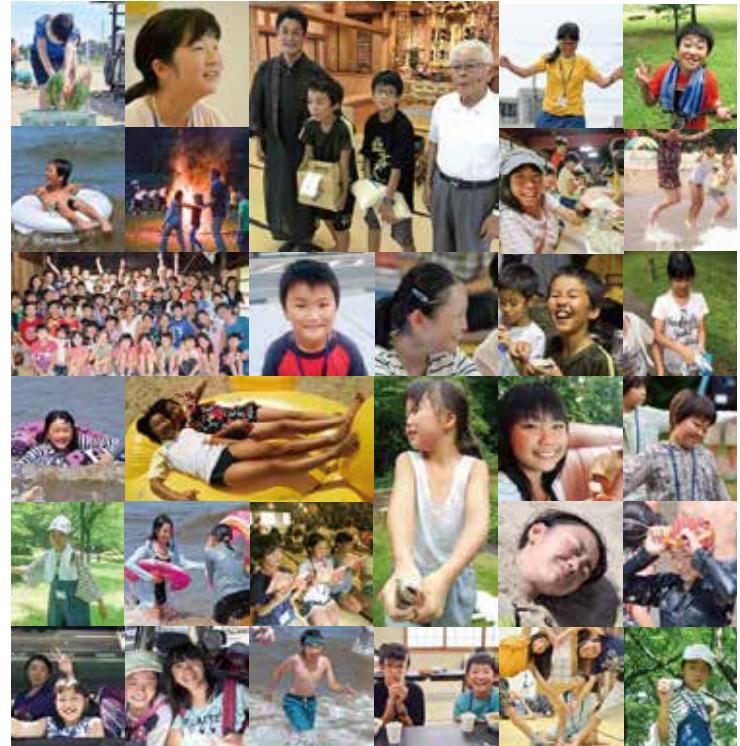
※これは保護者の方々と日程中連絡をとるなかでいただいた声や終了後アンケートでいただいた声を掲載させていただきました。

皆様のご支援により

「第6回 夏休み！高岡で遊ぼう！」を無事開催することがござりました

ご支援をいたいたいた皆様に今年いたいたいた笑顔のお裾分けです

※収支報告につきましては後日改めてさせていただきます



第6回夏休み！高岡で遊ぼう！実行委員会

本年も皆様の支援金のご協力により福島の子ども達の保養事業である「第6回 夏休み！高岡で遊ぼう！」を無事開催することができました。今年も五泊六日で開催しましたが、都合が合わなく私はほんの少しの手伝いとなつてしましました。

福島から27名の子ども達がやつてきて高岡市や五箇山で生活をしました。五箇山ではイワナのつかみ取り、島尾海岸での海水浴を楽しんでいきました。

保護者さんらの声によりますとまだまだ放射線を気になさつて生活をなさつている姿が垣間見られたり、放射線についての自分の思いを言いにくいということもあこともうようです。また放射能を浴びて生活している人たちという視線がすごく気になさつているという発言もありました。

富山にいるとなかなか福島のことが目に入つてしまふ。また入つても復興に向かって一生懸命頑張つておられる姿だけかも知れません。なかなか直接声を聞くことができませんそういう意味でも私にとって大事な場であります。

また共に生きるつてどういうことなのつて私に問い合わせられている場もあります。大事な夏を今年も過ごさせていただきま

【お知らせ】

お寺の横にある畑に銀杏の木があります。10月になると実が徐々に実りだし墜ちていきます。
そこで皆様にお裾分け、
自宅で食べられる分に限り銀杏をご自由に拾ってください。
(お寺に声をかける必要もありません)